

共同受信用混合(分波)器


4K8K
3224MHz対応

 屋内用 Model **MX(108/470)E**

 屋外用 Model **MXC(108/470)E**

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をお読みください。



このマークは放送法「不要放射34dB μ V/m以下」に準拠・設計された「無線LANや携帯電話など、電波の影響を受けにくい・与えにくい製品」に表記される当社独自のマークです。



安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただいたうえで本文をお読みください。

 警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	 注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。	絵表示の例	 △記号は注意(注意・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は警告または注意)が描かれています。
			 ○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
			 ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は一般指示)が描かれています。

警告

 雷が鳴りだしたら接続ケーブルや機器には触れない。 ●感電の原因となります。	 悪条件で作業しない。 ・天候の悪い日 ・暗いとき ・足場の不安定な場所 ●けがや落下事故の原因となります。
 作業時は落下防止対策をおこなう。 ●機器や工具はひもで結ぶ、ネットを張るなどして落下防止対策をおこなってください。機器や工具が落下してけがの原因となります。	 高所作業は専門業者に依頼する。 ●けがや落下事故の原因となります。

注意

 同軸ケーブルの芯線に触れない。 ●指に刺してけがの原因となることがあります。	 機器を移動させるときは、接続されている線などをすべて外す。 ●機器が倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。 ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
 分解したり、改造したりしない。 ●けがの原因となることがあります。 ●点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。	 煙やにおい、音などの異常が発生したらすぐに使用をやめる。 ●そのまま使用すると火災・感電の原因となることがあります。販売店に点検をご依頼ください。
 機器固定ねじは確実に締め付ける。 ●ゆるみがあると、機器が落下してけがの原因となることがあります。 ●締め付けトルクが指定されている場所はその指定のトルクで締め付けてください。	 悪条件の場所に置かない、設置しない。 ・不安定な場所 ・油煙や湯気が当たる場所(換気扇付近など) ・温度が高くなる場所(煙突付近など) ・温泉地や有害ガスの発生する場所 ●機器が落下して、けがの原因となることがあります。
 壁面取付使用時は十分な強度がある壁面に取り付ける。 ●壁面の強度が不足していると、機器が落下してけがの原因となることがあります。	

ご使用になる前に

●本製品は60MHz・FM・V-Lowと地上デジタル放送・衛星放送用の混合(分波)器です。CATV帯の伝送はできません。

取扱上の注意

●取付工事は、専門業者にご依頼ください。

メンテナンス

●いつまでも美しい映像(音声)をお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に受信状態、ケーブル接続、ボルト・ナット、ねじの取付状態の点検や増し締めなどの保守をご依頼ください。

各部の名称と外形寸法

●屋内用 MX(108/470)E

単位(mm)

60MHz・FM・V-Low端子

U・BS・CS端子

44

57

取付ねじ

機能アースねじ

66 (取付寸法)

60MHz・FM・V-Low
U・BS・CS端子

ケース

76

205

●屋内用 MX(108/470)E

単位(mm)

60MHz・FM・V-Low端子

U・BS・CS端子

44

57

取付ねじ

機能アースねじ

66 (取付寸法)

60MHz・FM・V-Low
U・BS・CS端子

ケース

76

205

●屋外用 MXC(108/470)E

単位(mm)

取付金具

機能アース端子

U・BS・CS端子

60MHz・FM・V-Low
U・BS・CS端子

ケース

60MHz・FM・V-Low端子

(取付寸法)

●屋外用 MXC(108/470)E

単位(mm)

取付金具

機能アース端子

U・BS・CS端子

60MHz・FM・V-Low
U・BS・CS端子

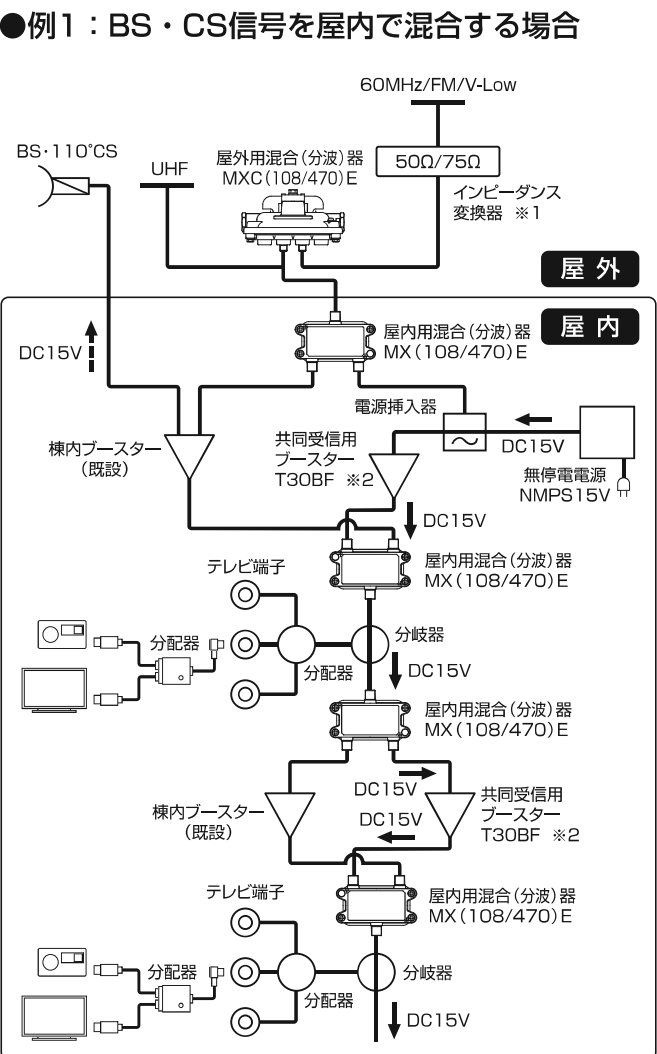
ケース

60MHz・FM・V-Low端子

(取付寸法)

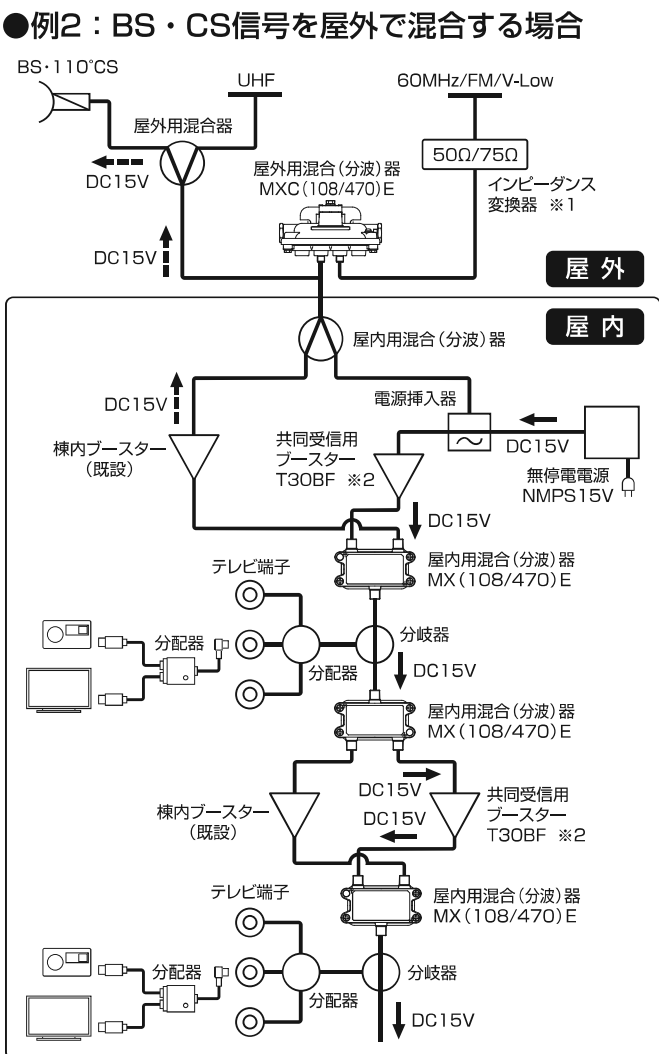
設置手順

●例1：BS・CS信号を屋内で混合する場合



---> 棟内ブースター⇒BS・110°CSアンテナに送電
 → 無停電電源⇒共同受信用ブースターに送電

●例2：BS・CS信号を屋外で混合する場合



- 棟内ブースター⇒BS・110°CSアンテナに送電
- 無停電電源⇒共同受信ブースターに送電

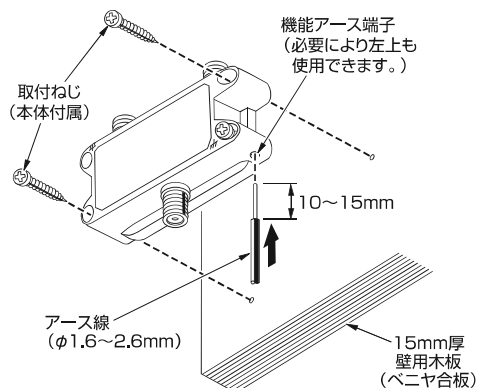
で使ってください。
接続可能です。使用方法・接続方法はT30BFの取扱説明書をご確認ください。

取付方法

●屋内用 MX(108/470)E

●壁面への取付方法

⚠注意 2本の取付ねじを均等に、ねじ頭と本体の間に隙間を作らず、空回りしないよう固定してください。落下してケガの原因となる恐れがあります。



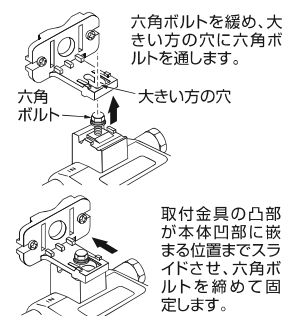
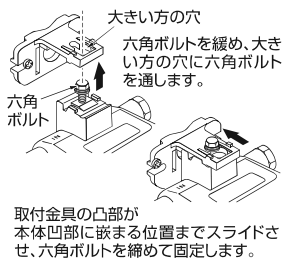
●推奨締付トルク

F型接栓 (NF型接栓)	2.0N・m
M6座金組込六角ボルト	2.5~3.0N・m
機能アースねじ	0.5N・m

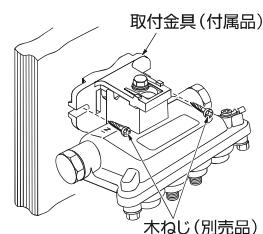
⚠注意 取付金具固定用のM6座金組込六角ボルト以外のボルトは緩めないでください。防水性とシールド性が劣化する原因となります。

●屋外用 MXC(108/470)E

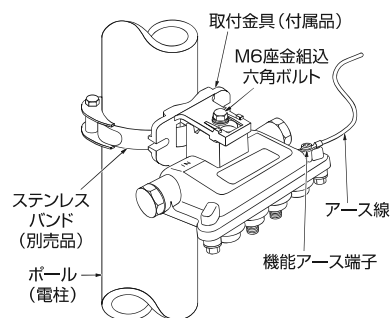
●取付金具の取付方法



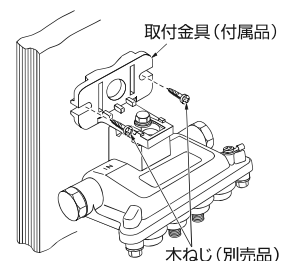
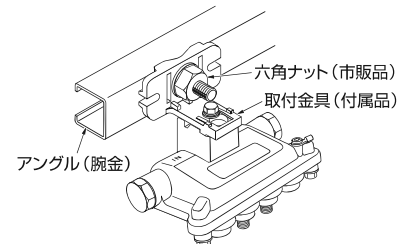
●壁面への取付方法



●ステンレスバンドによる取付方法



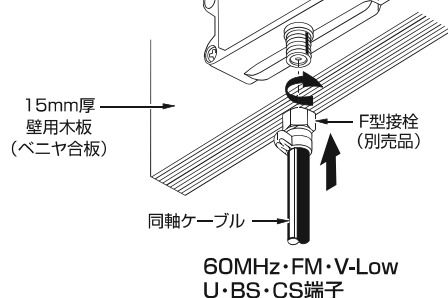
●腕金への取付方法



同軸ケーブルの接続方法

●屋内用 MX(108/470)E

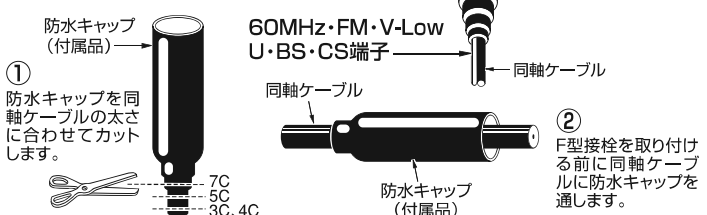
F型接栓を取り付けた同軸ケーブルを、本製品の端子に垂直に挿入し、軽く手で回した後、スパナなどで推奨締付トルクで締め付け、固定してください。



●屋外用 MXC(108/470)E

F型接栓を取り付けた同軸ケーブルを、本製品の端子に垂直に挿入し、軽く手で回した後、スパナなどで推奨締付トルクで締め付け、固定してください。最後に防水キャップをセットして完了です。

●防水キャップの加工・取付方法



廃棄上の注意

本製品のすべて、または部品を廃棄する場合には、産業廃棄物として処理してください。

使用上の注意

- 本製品の接続は必ず接続機器の電源を切っておこなってください。故障の原因となります。
- 本製品に同軸ケーブルを接続する際は、推奨締付トルクで締め付けてください。締め付けが過度になると破壊や故障の原因となります。また、推奨締付トルク未満では接続不良による性能低下の原因となります。
- 同軸ケーブルはS-5C-FB以上の使用をおすすめします。
- F型接栓（別売品）は同軸ケーブルに適したものをご使用ください。
- 7C以上の同軸ケーブルは、ピン付のF型接栓（別売品）を必ずご使用ください。
（7C以上の同軸ケーブルは芯線が太いため、F型端子へ直に挿入することができません。）
- 同軸ケーブルの加工は、ご使用になる接栓の推奨寸法でおこなってください。
- 浸水による故障を防ぐため、MXC(108/470)Eを屋外で使用する際は同軸ケーブルとの接続部に必ず防水処理を施してください。
- BS・CS信号を屋外で混合する場合、MXC(108/470)Eと棟内ブースターの間に接続する混合器はBS・CS端子へ電通可能なものをご使用ください。（接続例2を参照）
- 本製品の接続により既設の地上デジタル放送、衛星放送の信号レベルが低下しTV映像が映らない、ブロックノイズが出る場合があります。その際は既設棟内ブースターのレベルを再調整してください。

トラブルシューティング

症 状	原 因	対 策
TV映像が映らない ブロックノイズが出る 防災無線やFM放送の音声が出ない	●同軸ケーブルがしっかり接続されていない。	●同軸ケーブルの接栓を指定のトルクで締め付けてください。
	●同軸ケーブルが正しく加工されていない。	●芯線に編組線やアルミ箔が接触していないか、芯線に付着物がないかを確認してください。
	●各機器の接続する端子が間違っている。	●取扱説明書の「各部の名称と外形寸法」を確認し、正しく接続してください。
	●機器に入力される信号レベルが低く受信範囲から外れている。	●レベルチェッカーなどで機器に入力される信号レベルを確認し、ブースターのATTスイッチや利得調整ボリュームを再調整してください。
衛星放送が映らない	●パラボラアンテナのコンバーターに給電されていない。	●ブースターの送電スイッチを「入」に設定してください。 ●BS・CS信号を屋外で混合する場合、屋外用混合器と棟内ブースターの間に接続する屋内用混合器はBS・CS端子が電通可能なものを使用してください。

標準性能表

項 目 \ 型 名	MX(108/470)E		MXC(108/470)E	
	60MHz・FM・V-Low	U・BS・CS-IF	60MHz・FM・V-Low	U・BS・CS-IF
周波数帯域 (MHz)	10~108	470~3224	10~108	470~3224
通過帯域損失 (dB以下)	2.5	3.0	1.3	3.5
阻止帯域減衰量 (dB以上)	20	20	25	25
電圧定在波比 (以下)	2.0	2.5	1.8	2.5
入力・出力インピーダンス (Ω)	75		75	
使用温度範囲 (℃)	-10~+40		-20~+50	
質 量 (Kg)	0.1		0.5	
電通仕様	60MHz・FM・V-Low端子と 60MHz・FM・V-Low・U・BS・CS端子間 電流通過 最大DC15V・0.8A		U・BS・CS端子と 60MHz・FM・V-Low・U・BS・CS端子間 電流通過 最大DC15V・0.8A	
付属品	取扱説明書1枚		取扱説明書1枚、防水キャップ3個、取付金具1個	

お客様窓口



0570-091039

ナビダイヤル
ご利用時間 9:00~12:00 13:00~17:30
(土・日祝祭日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8

ホームページアドレス <https://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
7129502 2023年8月